

ECO ポイントで環境にやさしい未来へ！

はじめに

- ✓ 現在、地球温暖化をはじめとする環境問題が地球規模で大きな問題となっている。
- ✓ 1970年から2004年の間にCO₂は世界全体で80%も増加しました。過去100年(1906年~2005年)で世界の平均気温は0.74℃上昇しています。
- ✓ 今年は北海道で洞爺湖サミット(G8)が開催され、ある意味環境元年です。
- ✓ 一方で2050年には温室効果ガスの排出量を50%に削減しようと厳しい数値目標も。
- ✓ そして今、世間では空前のECOブームである。



しかし・・・

- ✓ 皆さん環境問題をどれだけ真剣に考えてますか？
- ✓ 国民一人一人の意識を変えないと今から先、我が日本そして地球はどうなるのでしょうか？
- ✓ 技術大国の日本、もっと環境技術で世界をリードしなければならないのでは？でも、技術面だけに頼って本当に環境問題はよくなるの？
- ✓ 環境問題に一生懸命取り組んでいる人、そうでない人のメリットの差がありますか？



提案のコンセプトは大きく二つあります・・・

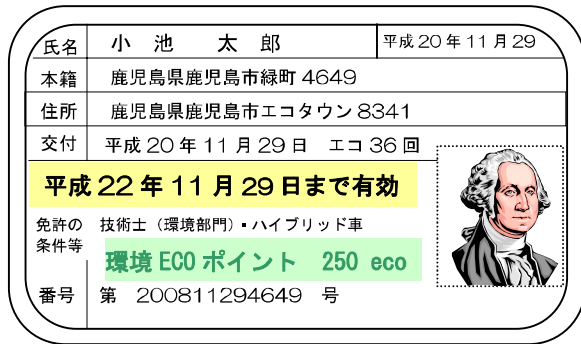
提案内容のコンセプト

- ① ECOポイント登録の制度をつくり、国民に義務化して普及させよう！！
- ② ECOの取り組みに頑張った人にはメリットを与えよう！！

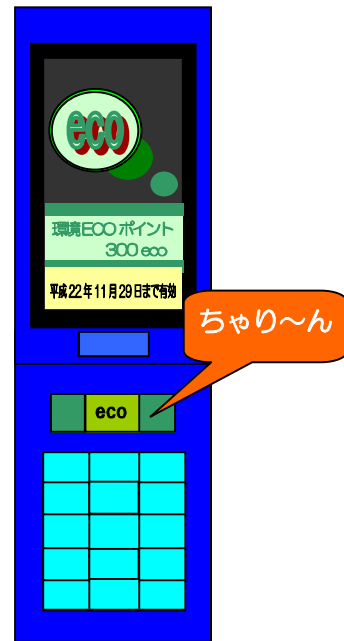
- ✓ ECOへの取り組みをポイント化しカード等へ登録する。ポイント登録はECO活動、ECO製品購入時や、ハイブリッド車に乗っている人などは定期的に加算されるなど、ポイントの登録の仕方はいろいろ検討する。
- ✓ ポイント登録は更新手続きを義務付ける。二年に一回は更新しなければならず、更新しなければ環境に影響する乗り物(飛行機や新幹線)はもちろんのこと、車購入時や公共料金(電気・ガス)まで割増しとしてしまう。
- ✓ 更新手続きは有料とする。イメージは自動車免許の更新と同じだが、(仮称)ECO登録カードセンターが環境省の天下り先にならないように気をつけよう？
- ✓ また、更新の際に規定のポイント達成していない方は、1時間程度の環境問題の講習を受けさせ、環境問題への意識を高めてもらう。あわせて更新手続き料金が若干割増しになる。
- ✓ 登録更新代はもちろん環境税として国に環境対策費や新技術開発費として使ってもらおう。できれば他の国から温室効果ガスの削減量を購入するような予算には使用しないで欲しい。

さらなる登録カードの普及を目指して

- ✓ 2008年の携帯電話世帯普及率は90.5%（内閣府調査調べ）でいまや携帯を持っていない人を探すのが難しいくらいである。そして、携帯電話の電子マネーで料金を支払う時代。財布を持たない若者もいるため登録カードを携帯電話会社と提携して携帯電話でECOポイントを登録できるようにしよう。



エコ登録カード
(ベーシックタイプ：免許証型)



エコ登録カード携帯バージョン
(電子マネータイプ)

今後のECOポイントの活用

- ✓ まちの中にエコステーション『(通称)エコの駅』を設置し、そこでECOポイントを使用してお買い物、食事ができるようにしよう。ECOポイントでエコ商品を購入するとポイントが倍になる特典をつけよう。
- ✓ ECOポイントが高いほど、いろいろな面で優遇されるようにする。例えば、飛行機のマイル制度を引用する。ECOポイントが高いほど、キャンセル待ちが優先的に与えられる。「ECOポイントのプラチナの方ご搭乗優先でございます～」とアナウンスしてもらえれば、まわりから「あの人エコ頑張ってるなあ」と尊敬の念を抱いてもらえ、気持ちがいいと思う。
- ✓ もちろん、高速道路もECOポイントにより割引を行う。ECO登録時にハイブリッド車などの情報を登録して環境にやさしい車は高速料金を安くしよう。

まとめると

- ✓ ECO登録ポイント制度を活用して、エコを頑張っている人には、思いっきり[エコひいき](#)しよう。そして、環境問題への参加意識を高めて、みんなでエコに取り組んでいきましょう！！

おまけ

この文章のなかに『エコ』『ECO』という言葉は何回でてきたでしょうか？正解はエコ登録カードの中にあります。